

【R7新規】林地情報集約化促進事業

6,700千円（森林環境譲与税繰入金）

大分県

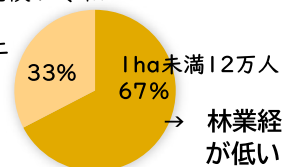
森林の現状と課題

- 森林所有者の高齢化や不在村化が進み、林業経営意欲が低下することで放棄林が増加
- 林地の譲渡希望は多いが小規模・分散しており、林業経営体が所有者を探索し交渉するのに時間と労力を要する

【森林所有の現状】

○所有規模が零細

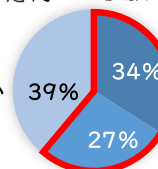
1ha以上 6万人
1ha未満 12万人



→ 林業経営意欲が低い

○森林所有の意向 → 手放したいが6割以上

所有権を保有したい 39%



所有権を手放したい

どちらかという手放したい

林地情報集積推進モデル検討会

【事務局】大分県森林組合連合会
【予算】負担金(森林環境譲与税) 県：670万円
市町：250万円(5市町×50万円)

【目的】

- ・譲渡希望森林情報を集約し、意欲ある経営体に公開、林地の譲渡を促進することで循環型林業を推進

【内容】

- ・市町の譲渡希望森林情報の収集
- ・現地調査後、森林クラウドに掲載し、林業経営体に公開
- ・所有者情報等の問合せ対応
- ・問合せ内容を森林所有者へ通知
- ・林業経営体は所有者と直接交渉

R7

R8

R9

5月「モデル検討会」設立 → 5市町でモデル的に試行 → データ蓄積し手法確立

参加市町の拡大 → 協議会へ移行

県・5市町

意向調査データ提供

【事務局】
大分県森林組合連合会

【モデル検討会 業務内容】

- ①市町の意向調査データ収集
- ②森林所有者の意向確認
- ③現地確認調査
- ④譲渡希望森林のデータ化
- ⑤大分県森林クラウド搭載
- ⑥所有者情報等問合せ対応

依頼

報告

各森林組合

【業務内容の拡充】

- ・一般相談窓口の開設
- ・境界の明確化
- ・林野庁事業の活用
- ・森林経営管理法改正への対応

全県的な取組へ拡大

【参加：5市町】

豊後大野市、臼杵市
中津市、玖珠町、九重町

意欲ある林業経営体等へ情報公開

【参加市町】

- ・大分県全域17市町に拡大
- ・主に17市町の負担金で運営

市町村の意向調査結果



譲渡希望森林情報の抽出

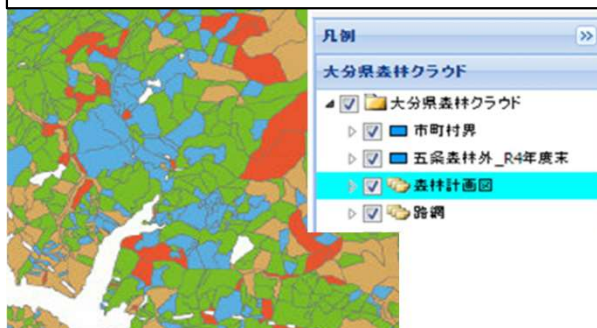
クラウド搭載の意向確認

現地確認

譲渡希望森林のデータ化

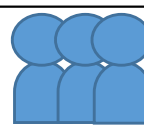
森林クラウド搭載

譲渡希望森林情報の可視化



閲覧

林業経営体



交渉

譲渡希望森林所有者



効果

譲渡希望森林の取引の活性化

意欲ある林業経営体への林地集積

経営放棄森林の減少・経営林化

循環型林業の推進加速化

林業経営体の林地取得の手順と事業効果

現 状

①地域の噂や現地調査で目星

②地元聞き取り等で所有者を確認

③登記情報の確認

④所有者と交渉

⑤売買契約

①所有者からの売却依頼

②現地調査

現状の
手法に
加え



250ha

経営放棄林の集積
将来目標

検討会設立後

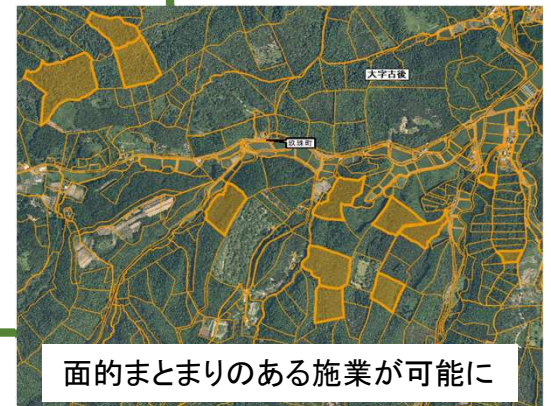
①購入希望エリアの譲渡希望森林を探す
(森林クラウド上で視覚的に)

②森林情報(位置、資源量等)を確認

③所有者情報を検討会に照会

④所有者と交渉

⑤売買契約



750ha

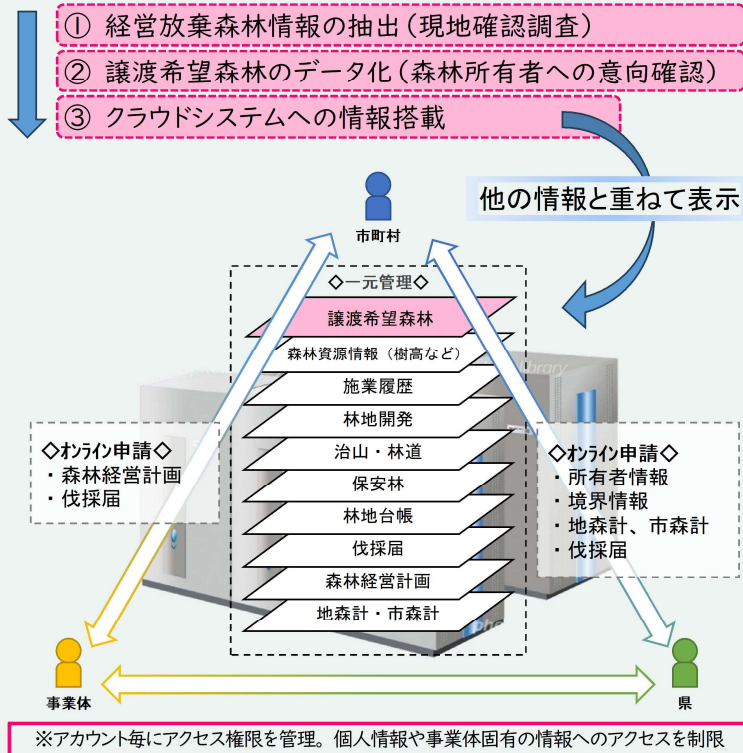
効 果

林地集積のスピードアップ
譲渡希望情報の効率的な収集

1,000ha/年

森林クラウドシステムの概要（譲渡希望森林情報の搭載）

【作業の流れのイメージ】



森林クラウドに譲渡希望情報を搭載したイメージ

